

平成26年2月10日 徳島県総合計画審議会

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応方針等	部局
1	目安箱	野菜摂取量の増加のための「徳島鍋」	<p>徳島県は、産地でありながら野菜摂取量が低い県である。</p> <p>野菜摂取量増加のために徳島県産の野菜、肉、魚介などを利用した「徳島鍋」のレシピを公募して、徳島の食材の魅力再発見と野菜1日350g食べるという啓発活動を行ってはどうか。</p>	<p>県では、野菜摂取量アップの取組みを推進するため、県産ブランド野菜の「簡単料理レシピ」の配布、県産野菜を使った料理をもう一皿食べようと呼びかける「野菜料理もう一品運動」、毎週日曜日を「サラダ元気日曜日」と定めるとともに、協力店において、県産野菜を使ったサラダ食材の販売促進活動などを展開している。</p> <p>更に、県産農畜水産物を5品目以上取り入れ、野菜をできるだけ多く使用いただくことを条件とした徳島ならではの鍋料理「国文祭鍋」や県南の農産物を使用した「南阿波鍋」を、飲食店で提供する取組みなども行っている。</p> <p>本年度公表された「国民健康・栄養調査」では、野菜摂取量は、男性は最下位から45位へ、女性は46位から38位へと改善し、成果が現れ始めたところであり、今後も、関係機関と連携を図りながら、野菜の摂取量アップと県産野菜の消費拡大に積極的に取り組んで参りたい。</p>	農林
2	目安箱	自転車レースの開催	<p>徳島だけでなく四国四県を巻き込んだツールドフランスのような自転車レースを提案する。年毎にスタート地点を持ち回りにして、名所巡りやチェックポイントには名産品のフードコート等を設置し、1日1県の比較的のんびりしたものにしてはどうか。</p>	<p>自転車レースは、原則として一般の交通を遮断し、順位や所要時間を競う競技であるため、開催にあたっては、コース設定、交通規制、迂回路の確保、参加者の安全確保等の解決すべき多くの課題がある。</p> <p>一方、交通規制を行わない、サイクルイベントとして、一般社団法人コグウェイが主催し、四国4県を周回する「コグウェイ四国サイクリングプロジェクト」が行われており、この取組みに対して本県をはじめ、四国4県が後援している。</p> <p>さらに、四国4県が連携して、「サイクリング・アイランド四国」として、四国1周のサイクリングコースを設定し、四国内外からの誘客を目指した取組みを進めているところであり、今後とも他県と連携し、PRに努めて参りたい。</p>	県民

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応方針等	部局
3	目安箱	橋の博物館とくしま	<p>橋の博物館とくしまが、ホームページに掲載されたが、こうした橋は徳島の地域資源である。「橋の博物館とくしま」の碑文や橋の歴史を紹介するものを設置し、廻って楽しめるようにしてはどうか。</p>	<p>ホームページ「橋の博物館とくしま」は、本県の誇る多様な橋に興味を持っていただくため、居ながらにして情報が得られるバーチャルな仕掛けとして作成しており、今後とも橋に関する情報を広く募集するなど、ホームページを充実することとしている。</p> <p>また、橋の歴史を紹介する案内板等については、既に阿波しらさぎ大橋や三好橋など一部の橋梁で設置しており、その内容も取り込むことにより、橋を廻って楽しむガイドブックとして利用していただきたいと考えている。</p>	県土
4	目安箱	阿波踊りUstream配信	<p>鳴門市と徳島市阿波踊り開催期間中にケーブルテレビで生放送している内容をそのままインターネットへUstream配信等できないか。インターネット配信すれば県外、世界中で見ることになり、徳島県と阿波踊りのPRになると思う。</p>	<p>阿波おどりは本県最大の観光資源の一つであることから、一人でも多くの観光客に阿波おどりを実際に観に来ていただき、その熱気を体感していただくとともに、地域活性化のため宿泊等をしていただきたいと考えている。</p> <p>なお、本県PRのため、動画は有効なツールの一つであると考えていることから、引き続き、年間を通じて阿波おどり動画を積極的に活用し、本県の魅力をPRしていきたい。</p>	商工

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応方針等	部局
5	目安箱	すだちくん20年	すだちくんが東四国国体のマスコットとなって来年で20年になる。20歳になるすだちくんの成人式を催してはどうか。	<p>「すだちくん」は、「東四国国体」の徳島県マスコットとして登場してから、長きにわたり、様々な場面で活躍し、県民をはじめ、多くの皆様に愛され続けている。</p> <p>県では、本年度、テーマソング「進め！すだちくん」や、歌に合わせた「ダンス」などを制作し、「すだちくん」の魅力を一層高めるとともに、徳島県のPRやイメージアップを目指し、全国プロモーションを展開している。その一環として参加した「ゆるキャラグランプリ2013」では、県内外のイベントをはじめ学校、企業、量販店などにおいて、積極的なPR活動を展開し、全国各地から1,580体が参加する中、12位を獲得した。</p> <p>また、大手飲料メーカーへのCM出演や首都圏メディアへの番組出演など、幅広い分野に活躍の場を広げ、まさにメジャーデビューを果たしたのではないかと考えている。</p> <p>このように、本年度は「すだちくん」20周年にふさわしい記念の年であり、今後ますます徳島の魅力を広く発信して参りたい。</p>	農林
6	目安箱	「徳島県立農林水産総合技術支援センター」の略称	「徳島県立農林水産総合技術支援センター」が本年発足したが、名称が18字あり、所属する者も県民も呼ぶにはあまりにも長すぎて困惑していると思われる。略称を決めて運用してはどうか。	<p>「徳島県立農林水産総合技術支援センター」は、平成17年度に発足した組織であり、この名称は、契約・許可行為や県が作成する公文書・資料などに幅広く使われている。</p> <p>現在、農林水産分野の研究・普及・教育に関する9つの所属で構成されており、施設は本年度4月にオープンした石井町の施設をはじめとして、鳴門市、上板町、美波町にも研究施設が存在している。</p> <p>電話対応等においては名称を簡略化し、「農林水産センター」という呼び名で対応している。</p> <p>今後とも、「もうかる農林水産業」を実現する「知の拠点」として、県民に愛され、親しまれる施設となるよう、取り組んで参りたい。</p>	農林

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応方針等	部局
7	目安箱	県の公式HPにリンクバナーの設置	徳島県公式ホームページに、リンクバナーを置いてはどうか。 (他県の多くで既に実施しているように、県の公式ホームページへのリンクバナーを「サイトポリシー」内に設置してはどうか。)	平成25年4月25日に、徳島県公式ホームページ内の「サイトポリシー」のページにリンク用バナーを設置し対応した。	経営
8	目安箱	道路(通り)や交差点に名前を	徳島県内の国道をはじめ、県道や市道又は交差点には名前がほとんどついていないため、事故などの非常時の通報や道案内をする際に非常に困る。各道路とせめて交差点くらいに名前がついて案内板が出てもいいのではないかと。	県管理道路においては、「田宮街道(県道徳島鴨島線)」や「紺屋町シンボルロード(県道宮倉徳島線)」など、広く県民の皆さんから愛称で呼ばれる道路があるとともに、近年では、「阿波しらさぎ大橋」や「阿波十郎兵衛橋」の名称を公募するなど、道路に親しみを感じていただける取組みを進めてきた。 また、主要な交差点においては、その住所等を表記した「主要地点標識」の設置を行い、わかりやすい案内標識の整備を行ってきたところである。 今後とも、地域のシンボルとなるような道路を整備する場合、ふさわしい名称や愛称を公募するなど、道路を利用する皆さんがより親しみやすく、よりわかりやすい道路となるよう取組みを進めていく。	県土
9	目安箱	徳島県にも通称を	香川県は、「うどん県」という通称をつけているが、徳島県も「阿波踊り県」か「LED県」などのような通称を付けてはどうか。	地域間競争に勝ち抜いていく「観光とくしまブランド」を確立するには、これらの地域資源をさらに磨き上げ、活用するとともに、埋もれた資源を発掘し、本県の魅力を継続的かつ積極的に発信することが重要であり、インパクトのある通称やキャッチコピーによってアピールすることは、非常に有効であると考えている。 これまで、本県ではこういったインパクトのある名称を用いた取組みとして、「徳島阿波おどり空港」や県の移動ブランドショップ「新鮮なっ!とくしま号」などにおいて行っているところである。 また、来年度には「本四高速への全国共通料金制度の導入」が予定されておりこれまで以上に多くの方に本県の魅力を体感していただけるように、「おどる宝島!とくしま」を合言葉に、様々なインパクトある取組みにより魅力あふれる本県の観光資源を全国に発信したいと考えている。	商工

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応方針等	部局
10	目安箱	通学自転車のオートライト義務化へ	無灯火の通学者をよく見かけるので、通学にオートライト自転車を義務化して欲しい。オートライトであれば、故障しない限り無灯火による事故は防げるはずである。	新入生対象の入学説明会をはじめあらゆる機会を捉え、児童・生徒及びその保護者に対し、自転車の無灯火運転の危険性やオートライト自転車の有効性について十分説明し、推奨して参りたい。	教育
11	目安箱	未利用農地	農地は、食料自給率、食の安全等の点から保護しないといけない面があるが、公共性の高い環境エネルギー、電気自動車の充電スタンド、携帯の基地局などの設置については、農地利用の規制を緩和してはどうか。	農地法では、「給油施設」や「認定電気通信事業者が行う中継施設」については、農地転用の規制が緩和されている。 また、再生可能エネルギー発電設備については農業を振興する優良農地以外は転用対象となっている。 県では、中山間地域における農業振興を目的とした荒廃農地に設置する太陽光発電施設の農地転用手続きの簡素化を図るよう国へ提言している。	農林
12	知事・市町村長会議	小水力発電（再生可能エネルギー）	小さな溪流とか用水路に余っている水を有効利用して小水力発電に取り組むために、大学や県の研究機関で技術開発をお願いしたい。	小水力発電の実証実験については、佐那河内村、上勝町、神山町、三好市などで実施し、技術面での検討を行ってきたところである。 一方、河川法等の法規制による手続き、賦存量の多い中山間地域の系統や変電所の容量が小さいことなどにより、全国的にも設置は伸びていない。今後は、支援事業の情報提供や、導入が促進されるようなマッチング事業などを進めて参りたい。	県民

番号	提言先	項 目	意見・提言の内容	対 応 方 針 等	部局
13	知事・市町村長会議	市民参加型の一斉震災対策訓練	<p>米国では「シェイクアウト」という広い地域が一体となった一斉の避難訓練が行われているという。徳島県でも、南海地震を想定して徳島県挙げての一斉避難訓練「シェイクアウト」をぜひ実施してほしい。</p>	<p>「シェイクアウト」は、2008年にアメリカでスタートした、実際に被災する状況に近い環境において、様々な人々が様々な場所で同時に待避行動を取り、身を守るための基本的な行動を確認することができる、効果的な訓練である。</p> <p>徳島県においても、震災発生時の「死者ゼロ」に向けた減災対策の一環として、携帯電話を用いた情報配信による県下一斉のシェイクアウトを含む「とくしま情報伝達訓練」を、昨年12月20日に実施したところ。</p> <p>この訓練を通じて、災害時の個人の防災力（自助力）アップといった効果を期待しており、より多くの県民の皆様に参加いただけるよう、今後も周知を図りながら実施して参りたい。</p>	危機
14	わくわくトーク	徳島県に女子のプロサッカーチームを	<p>男子のサッカーは、徳島ヴォルティスが四国で最も早くJリーグに参加した。ぜひ、女子のサッカーも将来なでしこリーグに昇格できるようにプロチームを地元で作って欲しい。</p>	<p>ワールドカップやオリンピックにおける「なでしこジャパン」の活躍により、「なでしこリーグ」を目指す県内の女子プロサッカーチームの創設は、地元の女子サッカーチームの選手にとって、大きな夢と希望につながるものであり、県内のにぎわい創出にも寄与するものと考えます。</p> <p>しかしながら、「なでしこリーグ」参戦への道のりとして、四国リーグ優勝、チャレンジリーグ入替戦での勝利、チャレンジリーグで4位以内の実力が求められる他、スタジアムや経営基盤などの課題が多いことから、県内の地元女子サッカーチームや徳島県サッカー協会、徳島ヴォルティスなどの関係団体の意向も聞きながら研究したい。</p>	商工